

## 第22回プロテオーム医療創薬研究会

実施日	平成22年5月27日（木）14:40～16:10
場所	横浜市立大学福浦キャンパスD2講義室
来場者	100名
内容	<p>大阪大学 微生物病研究所 免疫学フロンティア研究センター教授 熊ノ郷 淳先生を講師に迎え、「セマフォリンによる免疫制御—疾患との関連を含めて—」と題しセミナーを行った。</p> <p>要旨：セマフォリンファミリーは、1990年代初頭から発生課程において、神経の移動・方向性を決定する「ガイダンス因子」として同定されてきた分子群である。近年、器官形成、血管新生、脈管形成、癌の進行などへの関与も報告され、生体の組織構築及び細胞の運命を決定する代表的な細胞外因子の一つと考えられている。免疫系においても、我々のここ数年の研究により免疫系で機能する一群の分子群（免疫セマフォリン分子群）の存在が明らかになっている。今回のセミナーでは主としてセマフォリンの代表的な受容体の一つであるPlexin-A1を取り上げ、セマフォリンシグナルの免疫系における役割について紹介した。</p>